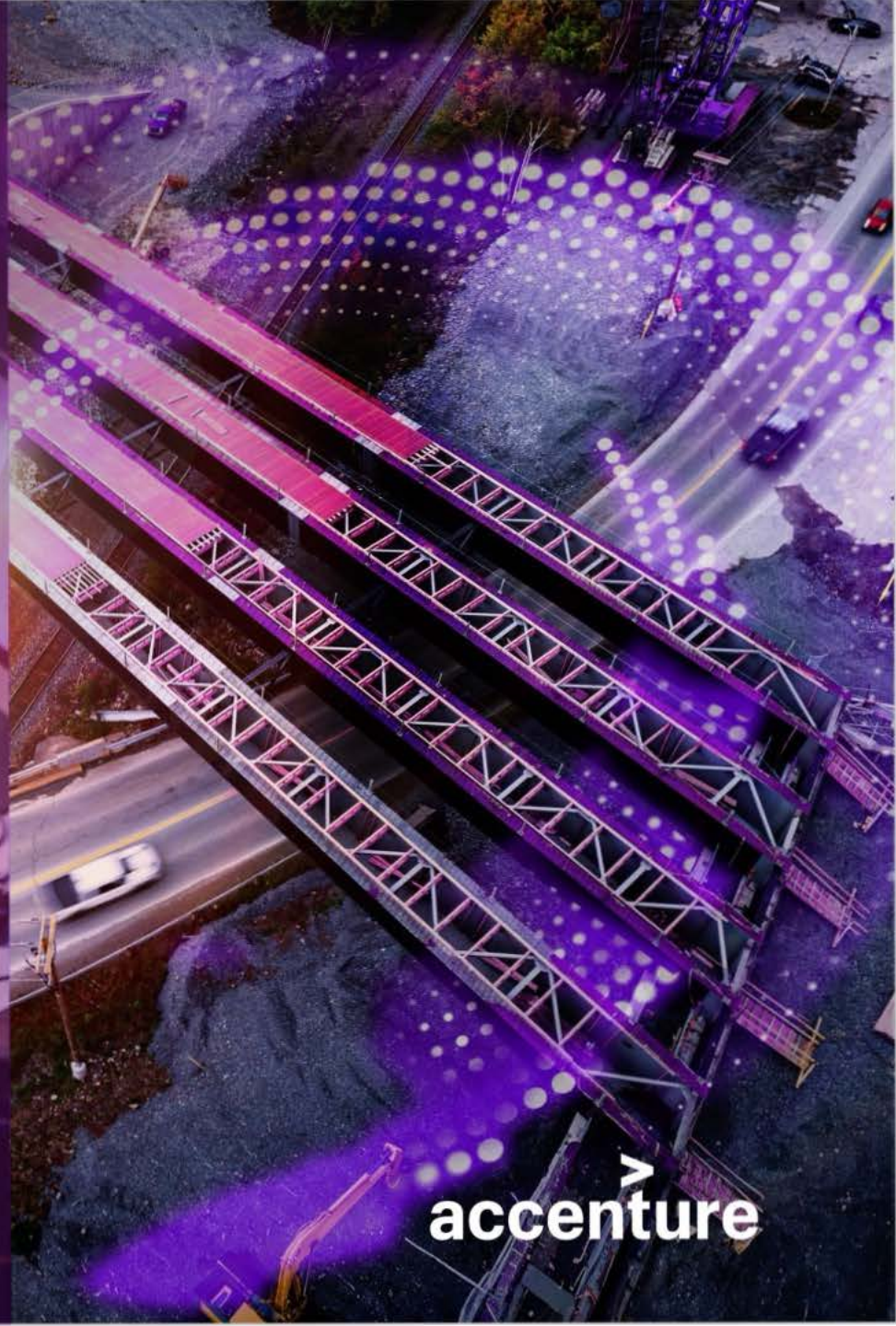
プロジェクト成功への道筋

社会インフラ＆キャピタル・プロジェクトを
成功させる手法とは



accenture

目次

03 - 04

調査概要と
グローバル概況

05 - 07

日本の社会インフラ&
キャピタル・プロジェ
クトにおける現状

08 - 09

パフォーマンスの違い

10 - 15

プロジェクトを
常に成功させる
4つケイパビリティ

16- 17

次に実施すべき
アクションとは?

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

リサーチ調査について

調査実施期間：2024年3月～4月

700
回答者数

13,000
回答者が過去3年間に完了したプロジェクト数

4
回答者プロフィール

- エンジニアリング/デザイン
- 建設業社/下請け業者
- 経営者および/または運営者
- 経営者とエンジニアリング/デザイン担当

23,000
回答者が遂行する5百万ドル以上のプロジェクト数

12
業界

- 公共サービス (100)
- ユーティリティ (83)
- ハイテク (75)
- 産業 (63)
- エネルギー (55)
- 天然資源 (55)
- 通信・メディア (51)
- ライフサイエンス (51)
- 化学 (49)
- ソフトウェア・プラットフォーム (46)
- 自動車 (40)
- 航空宇宙・防衛 (32)

23
カ国

アメリカ [250]
- 米国 (140)
- ブラジル (48)
- メキシコ (32)
- カナダ (30)

EMEA [230]
- フランス (40)
- ドイツ (40)
- イタリア (40)
- スペイン (30)
- 英国 (30)

UAE (19)
- サウジアラビア (17)
- アイルランド (10)
- クウェート (4)

APAC [220]
- 中国 (50)
- インド (50)
- オーストラリア (40)
- 日本 (40)
- シンガポール (13)
- マレーシア (9)
- インドネシア (8)
- タイ (4)
- フィリピン (3)
- ベトナム (3)

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

社会インフラ＆キャピタル・プロジェクトの需要が高まる中、スケジュール、予算内での実施、ゴールを達成するプレッシャーが増大

社会インフラ＆キャピタル・プロジェクト（住宅を除く）への総支出は
2025年末までに**9**兆米ドルを超えると予想されています*

世界的に継続的なネットゼロカーボンインフラへの注力

規制強化と世界的な貿易戦争による新たな課題創出

より多くのコミュニティと市民団体が社会インフラ＆キャピタル・プロジェクトに関与

人材とスキルのプールが継続し縮小

*出典: Global Construction Outlook

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

日本の社会インフラ& キャピタル・プロジェクトにおける現状

プロジェクトが遅延、予算オーバーする背景とは

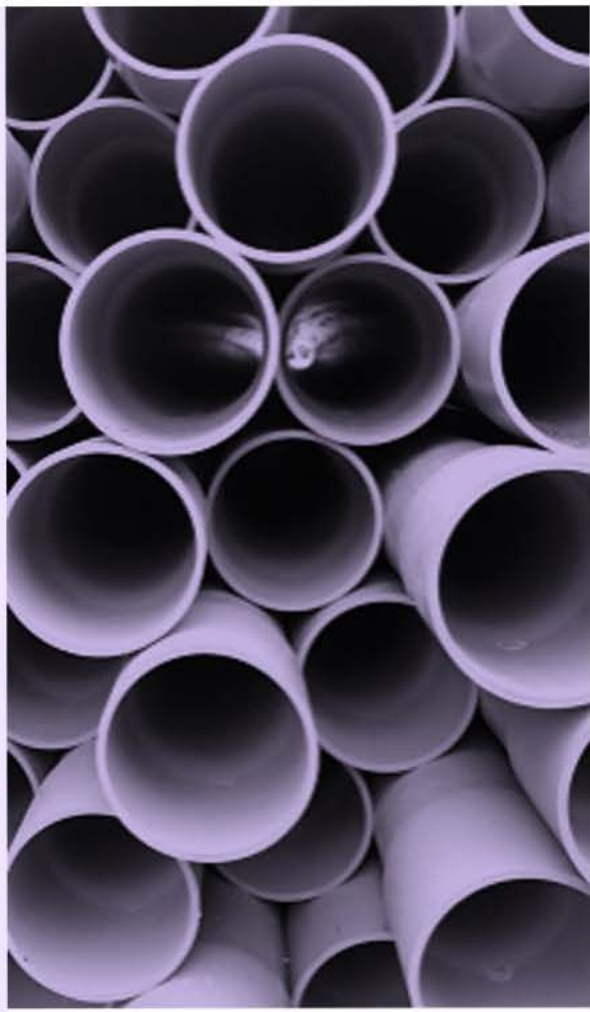
Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

キャピタル・プロジェクトの遅延とコスト増加は一般的ですが、その要因を議論すべきです。

日本の社会インフラ＆キャピタル・プロジェクトの

95%

が、期日、予算内の計画を達成していません。

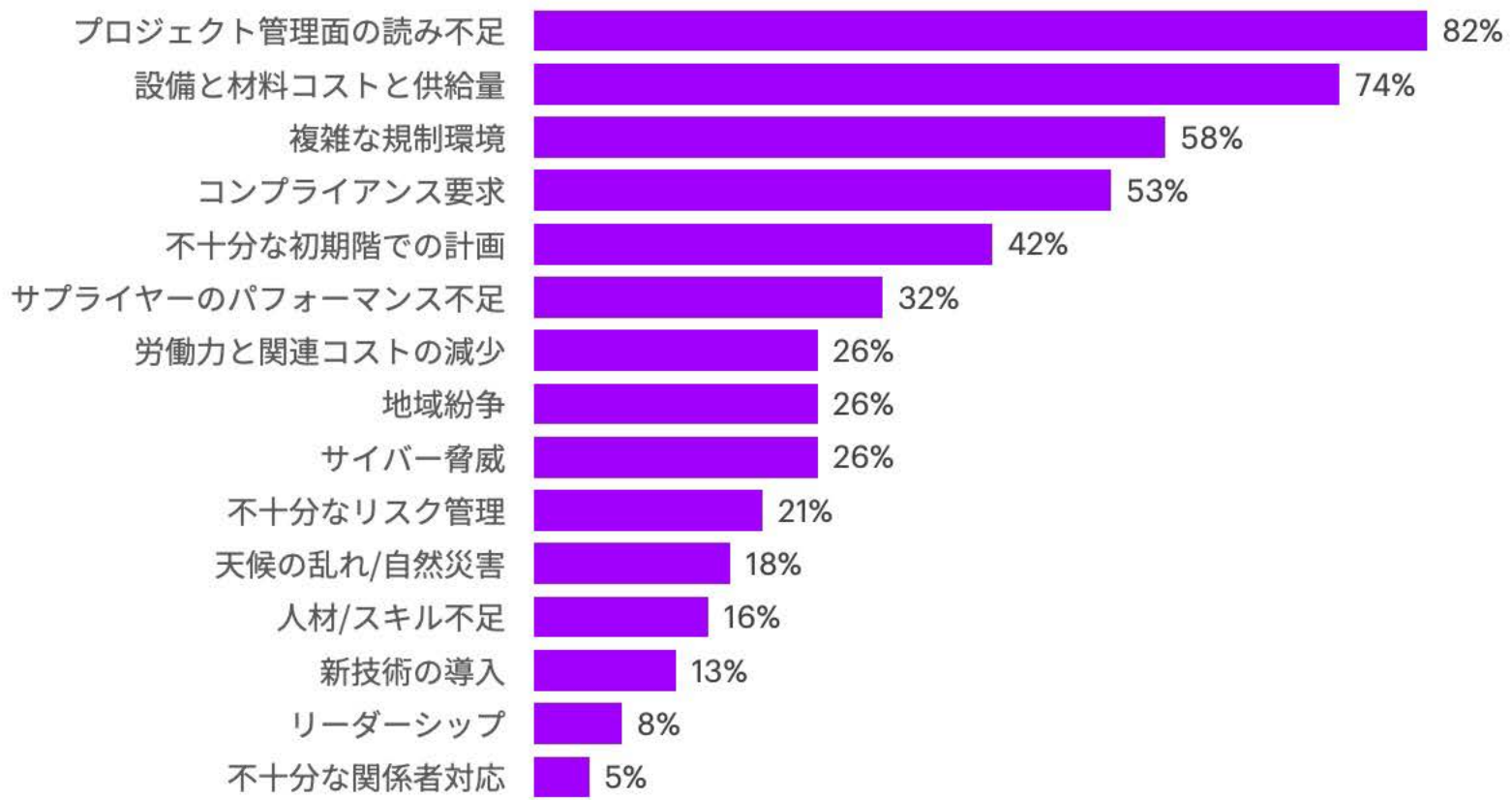


Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

企業がキャピタル・プロジェクトを計画内に達成できない要因

日本

***コスト超過とスケジュール遅延に寄与する主な要因**



*アクセンチュアのキャピタル・プロジェクト調査2024の回答結果にて、トップ3の要因の1つとして評価されました。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

パフォーマンスの違い

より多くの企業がトップパフォーマーを目指すべき理由

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

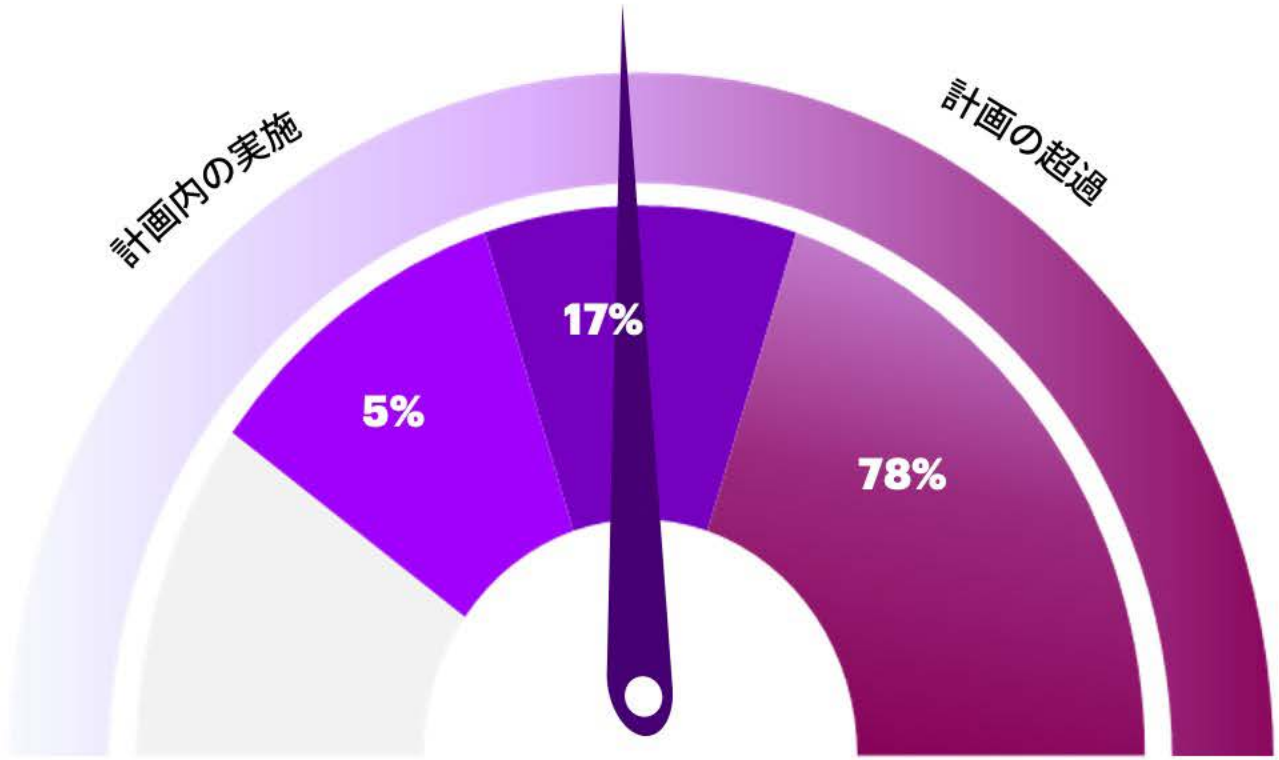
日本における大多数のキャピタル・プロジェクトは計画目標が達成できず、予算と期日超過による膨大な追加コストが発生しています。

78%

の企業が予算と期日目標を10%以上超過し、平均27%のコスト超過が発生しています。

一方、5%

の企業は期日内にプロジェクトを完了し、計画時の予算を約25%下回らせています。また、17%の企業は期日と予算目標を±10%以内で達成しています。



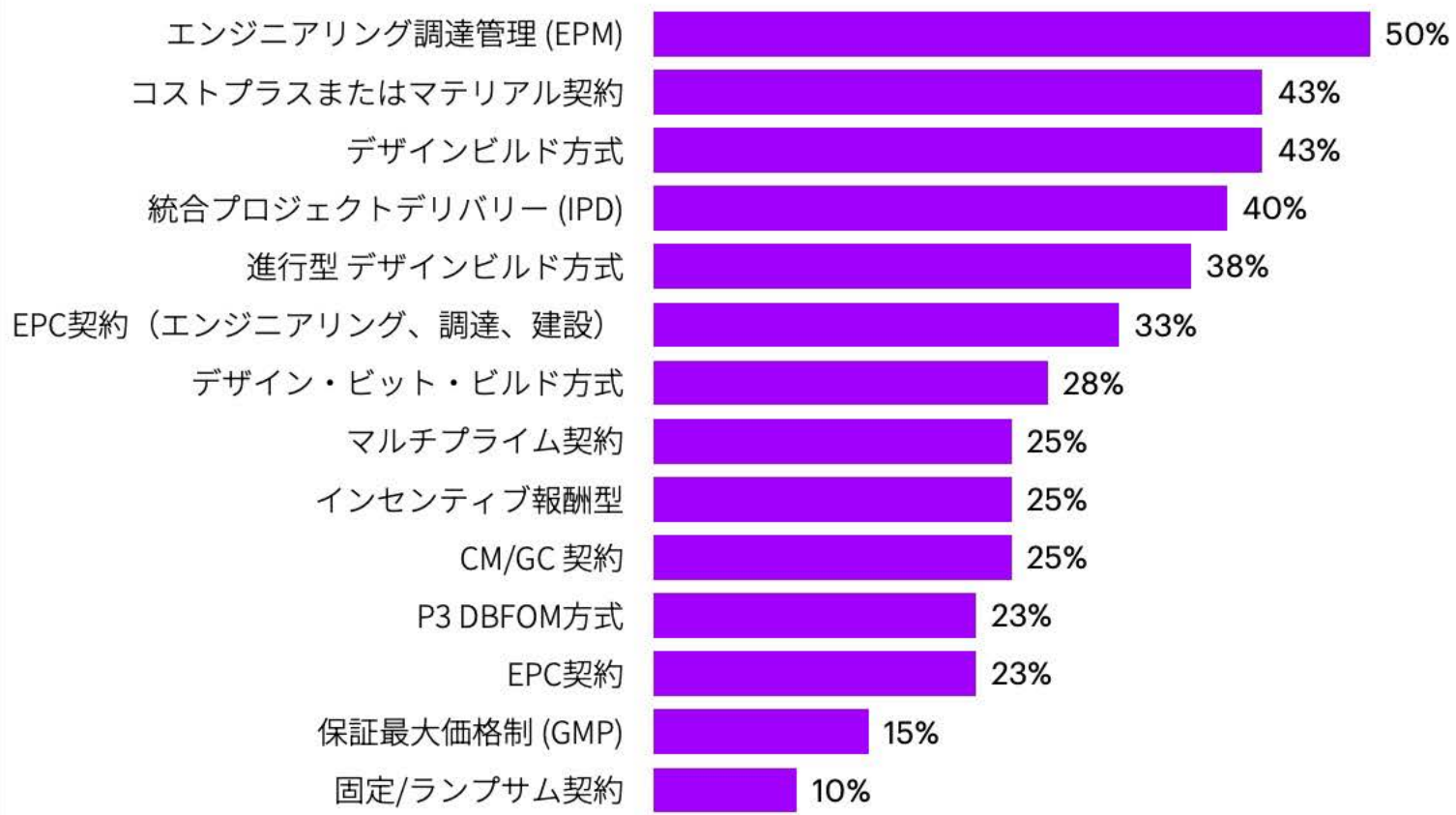
*スケジュール遅延による損失は、スケジュールのずれ（バリアンス）に基づいて計算されます。実際の損失には、追加の労働、機材レンタル、財務のコスト、および機会損失が含まれ、より多額になるでしょう。

契約総額の割合として

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

2020年以来、日本の大規模なキャピタル・プロジェクトでは、統合された柔軟な契約モデルが広く採用されています。

大規模なキャピタル・プロジェクトで採用される契約モデル



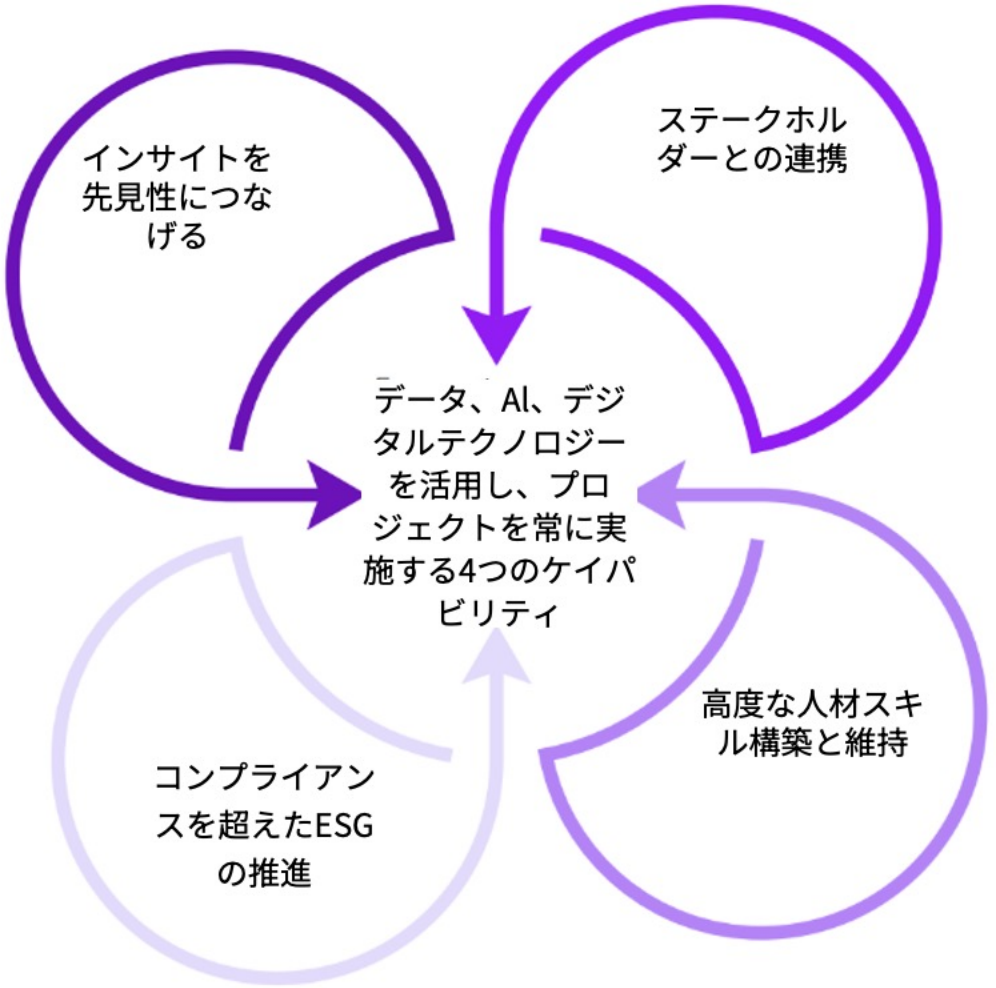
Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

プロジェクトを常に成功させる4つケイパビリティ

トップパフォーマー企業が優れている理由

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

キャピタル・プロジェクトのトップパフォーマー企業が継続的にプロジェクトを成功させるケイパビリティとは



Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

対象地域：**APAC**
(オーストラリア、中国、インド、日本)

1. インサイトを先見性につなげる

トップパフォーマー企業は、プロジェクト計画とガバナンスに影響力を持つスキルを優先し、高度な専門知識を活用することでプロジェクトを予算内、期日内に実施しています。

成功を実現するケイパビリティ	グリーンフィールド(新規構築)	ブラウンフィールド	デコミッション
協調的なプロジェクト計画とスケジューリング	●	●	○
サイト計画向上のための建設ビジュアライゼーション**	●	●	○
精密な予測**	●	●	●
予算とスケジュールのプロジェクション**	○	●	○
現場外で生産されたプレアセンブリモジュール部品を使用した効率的な建設	○	●	●
簡略化された調達	○	○	●
最適化された設計ソリューション	●	○	●
Advanced Work Packaging/リーンコンストラクションによる効率化されたプロセス	●	●	●
シナリオベースプランニングによる優れたリスク管理**	○	○	○
一元管理されたプロジェクトデータによる効率的な設計ワークフロー	○	○	●
タイムリーに介入できる継続的なモニタリング	○	○	●
先進的な調査手法による精密な現場データ収集**	●	○	●

影響力が高いスキル

明確なプロジェクト計画策定に必要な戦略

- 早期のプロジェクト計画に焦点を当て未然に問題を防ぐ
- 不確実性に対応する専門的なアプローチ
- データ駆動型のマインドセットを採用

● 高いインパクト*
● 中程度のインパクト*
○ 低いインパクト*

AIなどの高度なテクノロジーを使用したケイパビリティ

*各ケイパビリティを実装することで、AchieverまたはChampionプロジェクトのパフォーマンス評価を高める度合い
**成功を促す新興のケイパビリティ

出典: アクセンチュアキャピタル・プロジェクト調査2024。調査対象：経営者、運営者、またはEPC企業
質問内容:貴社がキャピタル・プロジェクトの開発と遂行のために実施した、または実施予定のデジタルケイパビリティは何ですか？
2020年以降に5百万ドル（USD）超の成果を達成したプロジェクトで、コスト超過とスケジュール遅延を削減した戦略を選択してください。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

対象地域：**APAC**
(オーストラリア、中国、インド、日本)

2. ステークホルダーとの連携

トップパフォーマー企業はステークホルダーエンゲージメント能力に焦点を当て、専門知識を活用した計画を推進しています。

成功を実現するケイパビリティ	グリーンフィールド(新規構築)	ブラウンフィールド	デコミッション
当局との明確なコミュニケーションラインを確立したより円滑なコンプライアンス**	●	●	●
ステークホルダーの動きを監視し適切な対応の実施**	●	●	●
効率的な情報管理を通じたデータの正確性確保	●	●	●
迅速で明確なコミュニケーションと最新情報の共有	●	●	●
チーム連携を強化するプロジェクトワークフローの効率化	●	●	●
没入型体験を通じたステークホルダーとの連携**	●	●	●
プロジェクトビジョンを実現するデザインコラボレーションの効率化	●	●	●
共有リソースを活用したコラボレーションの促進	●	●	●

影響力が高いスキル

ステークホルダーとの関係性を高める戦略

- 早期のプロジェクト計画に焦点を当て未然に問題を防ぐ
- 多様な専門知識とスキルを持つチームの構築
- コラボレーションツールやプラットフォームの活用

● 高いインパクト*
● 中程度のインパクト*
● 低いインパクト*

AIなどの高度なテクノロジーを使用したケイパビリティ

*各ケイパビリティを実装することで、AchieverまたはChampionプロジェクトのパフォーマンス評価を高める度合い
**成功を促す新興のケイパビリティ

出典:アクセンチュアキャピタル・プロジェクト調査2024。調査対象：経営者、運営者、またはEPC企業
質問内容:貴社がステークホルダーの管理とコラボレーションに実施した、または実施予定のデジタルケイパビリティは何ですか？
インフラ開発と運営において、ステークホルダーとのコラボレーション改善に役立った戦略を選択してください。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

対象地域：**APAC**
(オーストラリア、中国、インド、日本)

3.コンプライアンスを超えたESGの推進

トップパフォーマー企業は、特定の高い影響力を持つレジリエンシーとESGスキルに焦点を当て、専門知識を活用しコミットメントを達成しています。

成功を実現するケイパビリティ	グリーンフィールド (新規構築)	ブラウンフィールド	デコミッション
構造化された評価による環境コンプライアンス	●	●	●
データドリブンな環境のインサイト**	●	●	●
一貫した可視性を伴う責任ある調達	●	●	●
グリーンビルディングの枠組みに沿った環境に優しい建設**	●	●	●
コラボレーティブな計画によるサステナブルなデザインとの整合	●	●	●
ライフサイクル全体でプロジェクトの持続可能性を評価	●	●	●
循環型実施による廃棄物削減	●	●	●
環境へのインパクトをリアルタイムに監視	●	●	●
正確な二酸化炭素追跡による排出量管の理	●	●	●

影響力が高いスキル

規制とコンプライアンスに対処する戦略

- 責任あるオペレーション
- 正確な報告とESG適合性
- サステナブルなデザインと素材の使用

● 高いインパクト*
● 中程度のインパクト*
● 低いインパクト*

AIなどの高度なテクノロジーを使用したケイパビリティ

*各ケイパビリティを実装することで、AchieverまたはChampionプロジェクトのパフォーマンス評価を高める度合い
**成功を促す新興のケイパビリティ

出典アクセンチュアキャピタル・プロジェクト調査2024。調査対象：経営者、運営者、またはEPC企業
質問内容: 貴社は、キャピタル・プロジェクトの持続可能性とESG要件を管理するために、どのデジタルスキルを実施または実施予定ですか？
インフラ開発とオペレーションにおける環境、社会、ガバナンス（ESG）目標の達成に貢献した戦略を選択してください。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

対象地域：**APAC**
(オーストラリア、中国、インド、日本)

4.高度な人材スキル構築と維持

トップパフォーマー企業は、特定の才能開発スキルに焦点を当て、専門知識を活用して成功したコミットメントの達成を推進します。

成功を実現するケイパビリティ	グリーンフィールド (新規構築)	ブラウンフィールド	デコミッション
効果的なアウトリーチ戦略による人材獲得	●	●	●
スキルギャップを特定した迅速な採用や昇進	●	●	●
専門スキル向上プログラムによる人材育成	●	●	●
実践的な体験型トレーニングによるスキル向上**	●	●	●
安全で透明性のある資格確認**	●	●	●
社員開発プログラムによるスキル向上	●	●	●
構造化されたデータ駆動型の人材管理	●	●	●
AIを活用したスキルと役割のマッチング**	●	●	●

影響力が高いスキル

人材とスキル不足を解決する主要な戦略

- 地域採用の優先
- 文化の多様性を尊重
- スキルの多様性を認識

- ● 高いインパクト*
- ● 中程度のインパクト*
- ● 低いインパクト*

AIなどの高度なテクノロジーを使用したケイパビリティ

*各ケイパビリティを実装することで、AchieverまたはChampionプロジェクトのパフォーマンス評価を高める度合い
**成功を促す新興のケイパビリティ

出典:アクセンチュアキャピタル・プロジェクト調査2024。調査対象：経営者、運営者、またはEPC企業
質問内容: 貴社のキャピタル・プロジェクトで、人材管理強化のために実施した、または実施を計画しているデジタルスキルは何ですか？
多様な地域における人材確保と保持に役立った戦略を選択してください。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

次に実施すべきアクションとは?

社会インフラ＆キャピタル・プロジェクトの未来

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

次に実施すべきアクションとは?

キャピタル・プロジェクトの計画段階では、基本タスクの正確な実施に集中してください。

ステークホルダーと早期に、かつ頻繁に 連携しましょう。

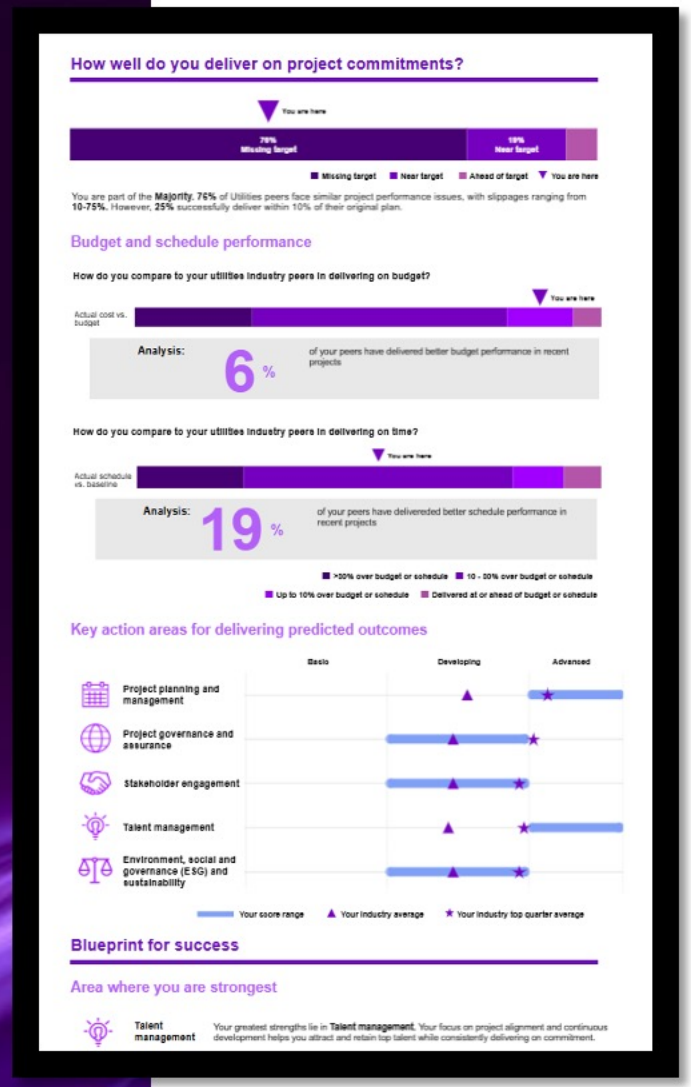
ESGをコンプライアンス順守のためだけでなく、資金調達の鍵を握る促進要因として位置づけましょう。

堅固な人材戦略を構築し、慎重に実施しましょう。

データ、デジタル、AI、およびGenAIの力を活用しましょう

I&CPポートフォリオナビゲーターは...

アクセンチュアのI&CPポートフォリオナビゲーターを活用し、カスタマイズされた成功の道程を入手しましょう。



01

プロジェクトを予算内、期日内に期待する成果を達成するケイパビリティを分析します。

02

業界のリーダー企業と御社のパフォーマンスを比較します。

03

トップパフォーマー企業になるジャーニーを始める道程をお示しします。

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.

お問い合わせ

マーク・ヒルトン

アジア太平洋インフラストラクチャー＆キャピタルプロジェクトリード

小野田 敬

インダストリーX本部
社会インフラ・建設・不動産・サスティナビリティー日本統括　マネジング・ディレクター

フルレポート（英語）を読む
accenture.com/blueprintforsuccess

Copyright © 2025 Accenture. All rights reserved.